

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 1870

# エポオールHB

1. 一般名 浸透性変性エポキシ樹脂下塗塗料 厚膜形
2. 規格 社内規格
3. 特徴
- 1) 1回塗りで厚膜が得られ、厚膜形上塗との組合せにより省工程化が可能である。
  - 2) 素地調整が2種ケレン（3種ケレン）でもすぐれた浸透性・付着性・防錆性を発揮し、塗り替え用及びプラスチック処理が不可能な場合に適している。
  - 3) 無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた防食性を発揮する。

## 4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	20kg/桶(主剤:17kg、硬化剤:3kg)				
色相	赤さび、グレー、白、淡彩色				
光沢	—				
密度 (23°C)	塗料	1.50 (グレー)			
	揮発分	0.87			
加熱残分	81% (グレー)				
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	指触	2時間	1時間	40分	30分
	半硬化	8時間	3時間	2時間	1.5時間
標準膜厚	100μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 5. 塗装基準

項目	内容				
素地調整	ISO-St2 (SSPC-SP2) 以上				
調合法	主剤: 85部、硬化剤: 15部 (重量比)				
可使時間	5°C	20°C	30°C	40°C	
	14時間	7時間	5時間	3時間	
気温・湿度制限	気温: 5°C以下、湿度: 85%RH 以上				
使用シンナー	エポオールシンナー				
塗 装 法	塗装方法	刷毛・ローラー塗装		エアレス塗装	
	希釈率	0~5%		5~10%	
	標準使用量	0.29 kg/m <sup>2</sup>		0.38 kg/m <sup>2</sup>	
	標準膜厚	100μm		100μm	
	ウェット管理膜厚	150μm		150μm	
エアレス塗装条件	1次圧 0.4MPa (4 kg/cm <sup>2</sup> ) 以上				
	2次圧 12MPa (120 kg/cm <sup>2</sup> ) 以上				
チップNo.163-517~721					
塗装間隔	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	最小	48時間	16時間	12時間	8時間
	最大	14日	14日	10日	10日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

## 6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 規定範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウェスにて清掃してから塗装すること。
- 希釈には必ずエポオールシンナーを使用すること。
- 塗装終了後の使用機器は直ちにエポオールシンナーで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

## 7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

## 8. 使用上の注意【警告】

- 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。